

「今、この時、この瞬間を大切に」

校長 神田 豊

早いもので第一学期が終了しました。新米の校長としては本当に時が経つのが早く、この一学期、自分は何をしたのだろうか、自問自答しては答えが見つからず、児童生徒の前に出る資格はないかと苦笑してしまいます。ただ、おかげさまで、大きな事故もなく一学期を終えることができて安心しています。

また、各学部で行われた行事や諸活動においても大変有意義な活動にすることができました。特に、小学部の運動会や中学部の体育祭、高等部のマラソン大会等は児童生徒が一生懸命に取り組み、持てる力を十分に発揮したものとなりました。児童生徒の姿に大きな拍手を贈りたいと思います。



ところで、PTA総会においても話しましたが、私はこの校舎に勤務するのは二度目になります。平成22年度から3年間、聾学校会津分校に教頭として勤めていました。3年ぶりに会津に戻ってきて一番に思い出すことは、教頭としての1年目が終わる直前に経験したあの東日本大震災です。

平成23年3月11日、午後の授業を終えて子ども達が下校し、ほっと一息ついた時に突然大きな地震に襲われたのでした。それが、大震災の始まりで、福島県は地震、津波、原発事故の三重苦に見舞われたのでした。学校はその機能を停止して臨時休業になり、6年生の児童にとってかけがえのない卒業式中止となってしまいました。



あれから、5年の月日が流れました。この校舎を見ると、どうしても、あの時の大変だった状況がよみがえってきます。そして、大変だった大震災を経験して、「今、この時、この瞬間がいかに大切か。」ということを痛切に感じたものでした。おそらく、多くの方たちが同じ想いだと思われます。5年が過ぎて、また会津に戻ってきましたが、子ども達の一日、一時間、一秒を大切にしようという気持ちをさらに強く持ちました。

生徒指導部より

～安全・安心に向けた取り組み～

生徒指導部

「創る」をご覧のみなさん、今年度の経営・運営ビジョンの中に「保護者や関係機関と連携し、安全教育の更なる充実を図る」という内容があることをお気づきですか。生徒指導部では「学校や地域で安全に安心して生活できる」ために重点事項を二つあげ、全職員が一丸となって学校全体で指導にあたっています。

1 安全な通学に向けた指導について

①「通学の手引き」を保護者と職員に配付し、通学バスの利用や自力通学の捉え方、通学の諸手続等をお知らせしています。この手引きを活用して、現在の児童生徒の実態から「適切な通学方法」や「自立した通学に必要な力の身につけ方」等を、保護者と教員が連携して考えながら通学に向けた指導を行っています。

②各学部とも年に数回、交通安全教室・指導を行い、交通ルールについて資料を見たり実際に体験したりして確認しています。また、外部団体と連携をとって交通安全教室の講話をいただいたり、用具借用の御協力をいただいたりしています。

2 安全な生活に向けた指導について

①会津養護学校版学校安全計画を作成し、内容を職員全員で共通理解を図って、計画に基づいて安全教育を進めていくようにしています。そこには、自らの行動や周囲の様々な危険を制御すること、安全に行動すること等児童生徒への指導・支援内容を明確にするとともに、子ども達を取り巻く学校生活や環境を安全に整えることを明記してあります。

②携帯電話（スマートフォン）の利用について、外部講師（KDDI職員や警察等）に依頼して講話をいただきました。「携帯電話（スマートフォン）やインターネットはとても便利なものだが、使い方を間違えるととても危険なものになる」という考えのもと、実際に起こった事件や犯罪を取り上げていただけたことで、生徒たちも自分のこととして捉え、正しい使い方について考える事ができました。また、携帯電話（スマートフォン）の使い方について、教員間の指導するポイントについて共通理解を図ることもできました。

※「安全」「安心」に対する指導・支援は、学校の中だけでは育ちません。「学校でできたことは家庭や地域で、家庭や地域でできたことは学校でも」というように、家庭や地域、学校が連携し、協力して子ども達の力を育てていくことが大切だと考えています。

小学部より

水遊びに夏祭り！夏の活動を紹介

生活単元学習や自立活動の中で取り組んだ、夏ならではの活動の様子を紹介します。

「水遊び」では、水しぶきが上がり大きな歓声が響きました。のびのびと体を動かしたり、水の感触を楽しんだりしました。七夕の時期には飾り作りをしました。折り紙を使った制作や粘土状のパルプを使った制作など、それぞれの学級でオリジナルの七夕飾りが出来上がりました。「夏祭り」の活動を重ねた学級もありました。音頭に合わせて太鼓を叩いたり、踊ったり、自分たちで出店屋や客になってやりとりするのを楽しみました。



「水遊び」



「粘土状のパルプを握って制作した七夕飾り」



「夏祭りをしよう」

高等部より

生徒会活動紹介

本校生徒会は、生徒一人一人が学校集団の一員であることを自覚し、自分の責任を果たすことにより、よりよい人間関係を築く力や豊かな学校生活を送ろうとする態度を養うことを目的に、会長1名、副会長2名、書記2名の役員を中心に活動しています。役員は、昨年2月の立会演説会を経て、生徒会役員選挙により選ばれました。今年度は、4月19日の対面式、5月20日のマラソン大会、5月31日の生徒会総会などの活動に取り組んできました。また、生徒全員がいずれかの委員会に所属し、図書、環境美化、集会、放送など8つの委員会が活動しています。1年間を通して生徒会役員が校門に立ち、「あいさつ運動」にも取り組んでいます。朝、学校に響く「おはようございます」の大きな声は、生徒そして教職員の活力になっています。



生徒会役員選挙



マラソン大会開会式進行



対面式 生徒会役員紹介

中学部より

楽しかった「体育祭」！



1年生は、初めての「体育祭」！ お家の方々が見守る中、先輩たちと力を合わせて「玉入れ」や「リレー」に大奮闘でした。毎年恒例になった、エキシビジョンリレー（教員チームとの対決）では、アンカーの雅崇君が校長先生を抑えてゴール！大盛り上がりでした。



研修部より

今年度の校内研修は、「児童生徒が主体的に学ぶことができる授業づくり」というテーマをもとに進めています。生活単元学習、作業学習、自立活動、算数、国語、保健体育などのグループに分かれ、使用する教材についてや授業の進め方などについてビデオを見たり、話し合ったりしています。11月30日には岩手大学教授の名古屋恒彦先生の講演があります。



また、7月21日には、授業に役立つ情報を幅広く学び合うことを目的に、**実技研修会**を行います。摂食指導の基本、木工室の活用などの8講座が開かれます。7月22日には、**特別支援教育関連機関の見学**を行います。見学場所は、ふくしの家、ピーターパン、松本機械工業株式会社など多岐にわたります。

それぞれの研修で学んだことを、日々の実践に活かしていきます。